

まがいでより

題字は日出小2年 あ べ ゆう や 阿部 侑哉 さんです

平成18年8月9日（年4回発行） 発行：大分県日出町議会 電話：73-3135



「ファイト！心を一つに」（第7回日出町子どもミニバレーボール大会）

目次

- 第4次日出町総合計画 2
- 特集 ここが知りたい 3
- 常任委員会 4
- 一般質問 6
- 町民の声 12

「人と自然の調和したふれあいと活力あるまち」をめざし

第4次日出町総合計画策定

社会経済構造が大きく変革する中、独自の町づくりを選択した本町は、それに対応していくための新たな総合計画を策定し、今議会で可決しました。

まちの将来像

「町民一人ひとりの顔を見て、その声を聞きながら町政を進めていく」という考えに基づき、今後「人」を中心とした町政運営を推進していくことが最も大切になる。

また、豊かな「自然」環境を守り、地域社会での「ふれあい」を大切にしながらお互いを支えあいながら「活力」にあふれる町づくりを進めていく。

この実現を目指すために基本理念や施策の大綱を設定しています。

また、10年後の平成27年の目標人口3万人を基本指標とし、各種施策により、明るい展望の持てるまちづくりを進めていきます。

基本理念

- 町民が輝くまちづくり
- 自然と調和のとれたまちづくり
- 協働によるまちづくり
- 創意と工夫により自立したまちづくり

施策の大綱

「人」を大切にすまちづくり

高齢者や障がいのある人の自立支援、健康寿命を伸ばすための取り組み、子育て支援や安心安全な学校づくり、生涯学習のための環境整備を推進します。また文化活動、スポーツ振興のための支援や指導者の育成に努め、町民生活の安全を確保するため、防犯・防災体制を強化し、「人」が輝き、「人」を育て守るための、態勢の充実を図ります。

「自然」と調和したまちづくり

美しい海岸線、緑豊かな山々、豊富な湧水など恵まれた自然環境の保全に努め、町民が清潔で快適な生活を営めるよう、不法投棄や公害に対応するための体制を強化します。また水源の管理保全、下水道の整備区域の拡大、公園や緑地の整備を推進します。

「ふれあい」が広がるまちづくり

コミュニティ活動の活性化を図り、行政主体だけではなくNPOや企業、自治会などと協働していくため、人材の育成や支援を積極的に行います。また住民の参画による町づくりのため、情報化社会に即した広報・広聴活動を行い、地域活性化や住民サービスの手段として情報化の充実を推進します。

「活力」あふれるまちづくり

農林水産業の振興、担い手の確保のために必要な環境整備を推進し、企業誘致にも積極的に取り組みます。また広域観光ルートを設定し、滞在型の観光地を目指します。

暘谷駅の特急列車の停車を視野にいれ、暘谷駅周辺を本町の新しい顔として高校跡地を有効利用しながら駅前広場の整備を行なっていきます。

健全な財政運営で実現

厳しい財政運営を強いられるなか、限られた財源を重点的・効率的に配分し、健全な財政運営を行なうため、現在「日出町行財政改革プラン」を策定し、自立した町づくりを目指した行財政改革を進めています。

策定された総合計画の各施策も、健全な財政運営のもとで、はじめて実現・実行できるものであるため、今後も「行財政改革プラン」の達成度を的確に検証していくことが必要です。

ここが知りたい！

町の借入金(町債)は今どうなっているの？

平成16年度末の町債の現在高は以下の通り。町債には赤字地方債、建設地方債があり、一概にこの金額が全て借入金ということではできませんが、毎年利子も含めて10億以上の金額を公債費として計上し、返済しています。

平成16年度末町債残高

一般会計	下水道会計	上水道会計	漁業集落排水事業会計	農業集落排水事業会計	用地取得事業会計	合計
94億8,000万	44億4,000万	2億1,000万	3億8,000万	2億7,000万	1,000万	164億9,000万

(百万以下四捨五入 単位：円)

平成18年度の当初予算で予定している全会計の公債費(返済金)は、約15億9千500万円。現在取り組んでいる行財政改革では、公債費の長期的な抑制を図るため、投資的経費(道路・公園建設や下水道整備等)の削減のほか、低利の借り入れを実施しています。

ポイント

赤字地方債 主に国の施策で不足する収入に対して、国・県が許可する借入金で、行政全般の何にでも使えます。10~20年かけて利息も含めて返済し、種類にもよりますが、借り入れた金額の70~100%が地方交付税で戻ってきます。地方交付税が削減されるなか、大きな収入源でしたが、近年はこの有利な借り入れも大幅に抑制され、収入不足は深刻です。

建設地方債 公共・公用施設の建設事業のために借り入れるもので、その目的にだけしか使えません。30~50%が地方交付税で戻るもの、交付税措置されないものなど種類は様々です。整備を進めてきた下水道事業の町債は、突出しています。



緊急性の高い事業を厳選

町の預金(基金)は？

主な2つの基金、財政調整基金と減債基金の状況は

区分	16年度末現在高	17年度中積立高	17年度末現在高
財政調整基金	3億4,049万円	1億1,309万円	4億5,358万円
減債基金	3億8,026万円	3,264万円	3億1,291万円

平成17年度は、大幅な町税収入の増加と行財政改革の効果により、予定していた基金の取り崩しの必要がなく、逆に財政調整基金に17年度末8,000万円の積み増しができました。16年度分の余剰金の積み立て分3,309万円と合わせ、17年度中の財政調整基金の積立額は上記1億1,309万円で、17年度末現在高は合計4億5,358万円。

基金残高は増加しているものの、18年度当初予算では繰入金として、2億1,000万円の基金を取り崩し、収入不足を補っている。国の施策により、今後も慢性的な収入不足は避けられず、継続して行財政運営の改革・改善に取り組む必要がある。

常任委員会

総務

住民生活優先の町づくりを

町条例の一部改正 地方税法の改正に伴うもので、税源移譲を行うための個人住民税の税率の見直し、定率減税の廃止、固定資産税の評価替えに伴う税負担の調整、たばこ税の引上げなどであり、全会一致で、承認。

町税特別措置条例の一部改正 地方税の不均一課税に伴う減収補てん制度を適用している農村地域工業等導入促進法および省令にもとづく、改正を行うもので、承認。

17年度一般会計補正予算 既定の予算の総額に1千767万円を追加し総額を75億6千309万円にするもので、承認。

第4次総合計画 平成27年度を目標年次とした町民や企業などと行政が協働して町づくりをする指針であり、可決。

日出町男女共同参画推進条例 町と町民および事業者が一体となり、男女共同参画社会の実

現を図るため条例を制定するもので、可決。
行政組織条例の一部改正 出張所を地域振興の拠点施設として有効活用したいとあるが、資料不足のため閉会中の継続審査と決定。



出張所の将来像は…

各種委員会などの報酬および費用弁償条例の一部改正 男女共同参画推進条例審議会委員、障害程度区分認定審査会委員に

報酬を支払うもので、可決。
18年度一般会計補正予算 既定の予算の総額に386万4千円を追加し、総額74億6千786万4千円で、6月補正では最低必要額を補正するもので、可決。

また、日出生台演習場での、在沖縄米軍の訓練拡大に反対する意見書を採用に関する請願書を採用した。

産業建設

将来を見据えた

基盤整備が必要では

17年度日出町公共下水道事業・日出土地区画整理事業特別会計補正予算 決算見込みにもとづいて歳出予算を調整し、それに伴う国庫支出金、支払基金交付金、清算徴収金、一般会計繰入金などの財源を、所要の予算措置したもので、承認。

18年度日出町簡易水道特別会計補正予算 修繕料にかかる予算の組替えて予算額の増減はなく、補正後の予算の総額は、9

03万7千円であり、可決。
18年度日出町公共下水道事業特別会計補正予算 下水道事業に係る財政措置の変更に伴い、下水道整備促進基金繰入金を減額し、一般会計繰入金で財減調整をしています。

既定の予算額に増減はなく、補正後の予算の総額は、8億9千577万8千円であり、可決。
山田湧水の環境施設整備に関する陳情 湧水の利用客が急増しており、トイレなどの施設が無く、環境条件が極めて悪化しているのが現状であり、採択。



「この美しい水は、私たちの誇りです」 (山田湧水所)

常任委員会

● 社会厚生 ●

三尺山産廃場の対応



事業関係者に悪臭の原因を質す（三尺山産廃処分場）

三尺山の産業廃棄物処理場を現地視察。現在、悪臭対策を行なっているが、場内から流れ出る水も悪臭を放っており、町独自で水質調査し、結果を待って早急に事業者、県に対応を求めよう支持をした。今後もしっかりと状況を見守り、積極的に行政が対応していかねばならないことも確認した。

充実した福祉サービス

17年度日出町国民健康保険税条例の一部改正
所得税・住民税の公的年金控除の見直しおよび老年者控除の廃止にともない、国民健康保険の負担が増加する高齢者に配慮するため、18・19年度に限り激減緩和措置を

講ずるものであり、承認。

日出町障害程度区分認定審査会の委員の定数を定める条例の制定 障害者自立支援法の施行で、介護給付費などの支給を決定する審査会の設置が義務付けられたことにより、条例を整備するもので、可決。

日出町手数料条例の一部改正 「石綿による健康被害の救済に関する法律」が施行されたことにより、給付金などを申請する該当者に対し、戸籍の無料証明を行なえるよう条例を改正するものであり、可決。

日出町乳幼児医療費助成に関する条例の一部改正 県の要綱改正に伴うもので、主な改正は「3歳児未満」の入院・通院の助成を「未就学児（6歳未満）」の入院・通院に拡大し、「入院時食事療養費」を助成対象外とし、「自己負担制度」を導入するものであり、可決。

日出町母子家庭医療費助成に関する条例の一部改正 県の要綱が改正されたことに伴い、条例を改正するもので可決。

主な改正点は、「母子家庭」を「ひとり親家庭」とし、新たに「父子家庭」を助成対象に拡大するもので「親」の定義を「20歳までの児童を監護」から「

18歳の年度末までの児童を監護している者」とし、「入院時食事療養費」を助成対象外とするものです。

日出町重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部改正 県の要綱が改定されたことに伴うもので、従来の給付対象者に「精神障害者保健福祉手帳1級に該当する障害を有するもの」を加え、「入院時食事療養費」を助成対象外とするもので、可決。

18年度日出町介護保険特別会計補正予算 歳入で、介護予防ケアマネジメント事業の一部を民間に委託したことによる委託料の増額補正、歳出で、報酬単価の変更による介護予防ケアマネジメント報酬の減額で、可決。
事務の委託に関する協議5議案 広域行政窓口サービスの環境として、住民票・印鑑証明・戸籍の謄抄本などを県内のどの市町村でも請求、取得ができるようにするため、今回準備の整った5市町（大分市・別府市・杵築市・由布市・九重町）と協議により規約の制定するものであり、可決。

一般質問

役場出張所の 具体的な利用計画は

佐藤 隆信 議員



問 嘱託職員2名分の賃金とその他の経費は年間いくらかですか。

総務課長 18年度の見込みで、非常勤職員8名で総額1千383万円です。また、維持管理費に約450万円程度見込んでいます。

問 出張所廃止後の住民への利便性は変わっていませんか。

総務課長 過去1年間の取り扱った件数は約6千500件で、1出張所あたり1日6・7件であり、出張所業務が郵便局に移行した1月からは、1日当たり6・1件ということで、総体的にはそれほど利便性の低下はないと考えています。

問 具体的な事業計画は。

総務課長 各地区ごとに特色ある事業を展開して頂くために、協議会を開き、幅広く住民の皆さんにご意見を伺います。また

積極的に情報発信しながら、地域振興の拠点施設として有効活用することで、地区の活性化につなげていきたいと考えています。

保健福祉センターの 生きがいデイサービス

問 利用者がこれまで使用していた部屋（テイルーム）をなぜ使用できなくなったのか。利用者を増やすことを考えていますか。

町長 生きがいデイサービスで毎日11から12名の利用者の方がいますが、どうも使っていたきたいというふうに思っています。そしてデイサービス利用者の専用ということではなく、6千155名の65歳以上の高

齢者の皆さんを含め、子どもやお母さん方など多くの方に利用していただきたいと考えています。保健福祉センターは町民のセンターでありますので、たくさんの方々に利用していただくよう、社協ともども努力してまいります。

廃棄物の撤去と、 三尺山での 操業中止を

問 三尺山の産業廃棄物処理場は、地元の強い反対を押し切って県が許可しました。住民に多大な被害をもたらした責任は重大です。町長は県に対して、産廃の撤去と操業中止を県に申し入れを。

町長 私は最大限の努力をします。現在、業者も最新鋭の工法で対応しています。県の産業廃棄物対策課や保健所関係、私どもあるいは地元の皆さん方ともども具体的な対処をしていただきます。そして、しっかり見守りなが



なぜ、安定型5品目に悪臭がするのか

ら、今後どのような方策が取れるか考えてまいりたいと思います。また、「中止の申し入れ」は現在調査中で、原因が明らかになった時点で、何らかの対応を考えています。

質問を終えて

町長はもっと、弱者に対して気くばりを。
格差社会を広げぬように。

一般質問

スポーツ施設の充実を

問 職員に行政改革などの提案をお願いしたと思いますが、何件でしたか。

町長 約8割の194名の提出がありました。論文調のものや、何10項目も書いているものもあり、大変膨大なものでした。

問 内容の感想はいかがでしたか。

町長 若い職員からベテラン職員まで非常にいろんな考え方のものがあり、そのこと自身がすばらしい問題であろうと思います。

行財政改革を推進している中に大変多くのものが入っていると理解しています。

職員の意見を

反映していますか

後藤 佑 議員



問 県下のスポーツ施設と日出町を比較した感想を聞かせてください。

町長 施設整備面で遅れていると非常に痛感しています。

問 改修や新設の考えがありますか。

町長 財政再建中であり、新たに体育館・グラウンドを造る事は、慎重にならざるを得ない。今ある施設を十分活用しながら、側面的な基盤整備を考えています。

今回、弓道場の遠的の夜間照明とライフル射撃の練習場の予算措置を提案しています。

問 学校や体育館施設整備の改修計画は、ありますか。

町長 教育委員会ですら調査していません。早い時期に予算措置できればと思っています。



恵まれた自然につつまれ体力づくり (安養寺グラウンド)

子どもの事故、

事件の対応は

十分ですか

問 現在、実施している対策と今後の対応は、どうなっていますか。

教育長 校区ごとに区長や老人クラブ、諸団体の皆様方に協力依頼をしています。教育委員会は、通学路の危険箇所の調査を行い、安全マップをつくり、子どもの安全を指導するように学校に指示しています。また、安全パトロールを実施しています。

問 一人でも多くの町民がパトロール中のステッカーを掲示すれば、防止に役立つと考えますが、いかがですか。

教育長 町民一人ひとりが意識を持ちながら暮らしていくことが、子どもを安全にする大きな抑止力になると思います。

質問を終えて

職員と町執行部がお互いを理解し合って町民のために頑張ってください。

一般質問

行財政改革は職員・ 議会と一体となって

熊谷 健作 議員



問 行財政改革につながる機構改革や人員の配置は、職員・議会にもっと周知、理解を求め必要があるのでは。

町長 行政組織の一部改編・4月の異動・健康増進課の新設・中央公民館や致道館の館長の設置の問題など、その時々に分れ委員会にも報告してきました。また、組織条例事項に当たることであり議会の議決と了解なくしてできないわけです。まだまだ周知徹底が不十分とのお趣旨です。今後ともご理解いただきよう努力してまいります。

学校現場に 教職員の増員を

問 30人学級・2学期制の導入や学力向上また防犯パトロー

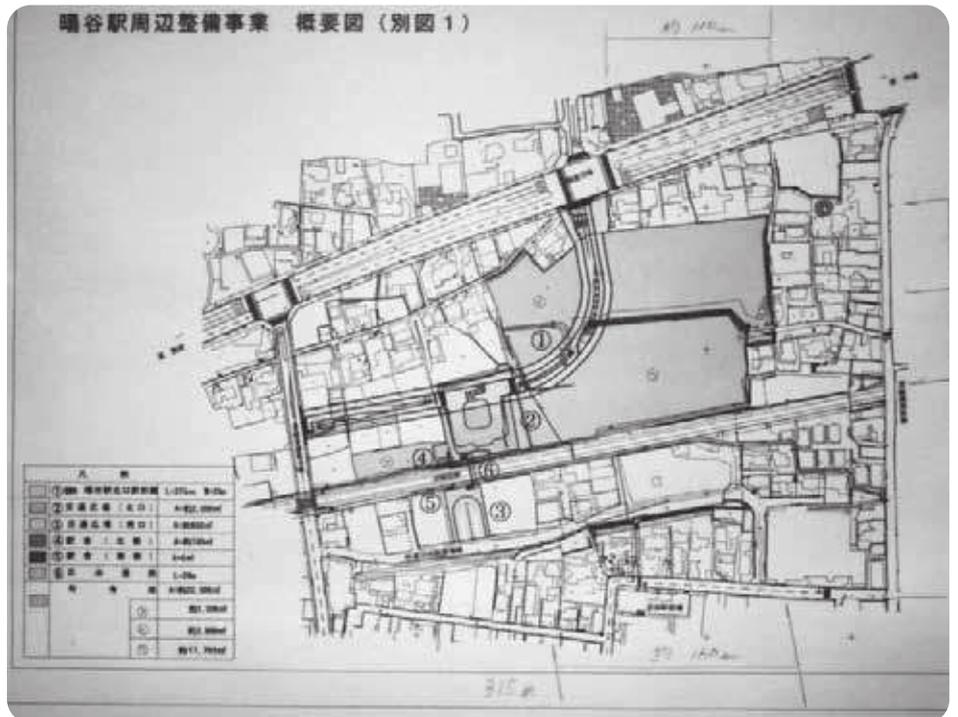
ルなど教職員の負担は重くなっています。非常勤職員の配置は、**町長** 教育長には学力向上を始め、健康問題も含めた子ども達の健全育成のため、最大の努力をお願いしています。

教育委員会で十分論議をいただき、先生方の創意工夫などにより、子どもの勉学の機会が、あるいは、よい環境が整うようお願いしたいし、私も意向については承りたいと思っております。

高校跡地の利用は

問 高校跡地に、横断する道路が築造されています。今こそ具体的な利用計画やビジョンを示す時だと思えます。

暁谷駅周辺整備事業 概要図(別図1)



夢と希望にあふれた土地利用を (高校跡地利用計画図)

質問を終えて

高校跡地の質問は時間切れで残念。町の将来像に影響を与える問題なので、委員会でも引き続き議論していきたい。

町長 今、町づくり交付金事業(5年間・3億3千万円)で交差点改良・暁谷駅・暁谷城址周辺の整備といった一体的な考え方にたつて都市再生計画という形で国と協議させていただいています。

一般質問

行財政改革プランの進捗状況は

佐藤 二郎 議員



問 行財政改革プランの進捗状況、効果は。

企画振興課長 改革元年は、町有財産の売却、徴収率向上対策、上下水道の使用料納付書の本体化等々、52項目のうち、「計画以上・計画どおり」が33項目ありました。16年度決算額とプランの17年度効果目標額との比較では、約3千214万円の効果額となっています。初年度としては進捗状況および効果は一定程度の効果をおよぼす事ができたと判断しています。

問 計画を大きく変更された事がありますか。

企画振興課長 5年計画に変更し中期財政見直しにもとづき歳入を中心に町税収入、地方交付税など、若干の修正を行いました。

問 17年度の決算見直しは、どうなっていますか。

町長 歳入は、法人税や滞納整理強化などを行い町税の収入増がありました。決算見込み額は76億300万円となりプランより1億4千900万円の減であります。歳出は、74億3千800万円で8千万円の基金積立ができました。

問 財源の確保は、どのように取り組んでいますか。

町長 町有財産の売却、滞納の徴収強化、使用料手数料の見直しなど、人口の3万人を目指し定住化対策を積極的に進めていきたいです。

どんな町にしたいか

問 改革プランに沿って何と



集中改革プランの効果額を検証説明する工藤町長

定員の関係職員配置など改善すべき問題もあります。具体的な連携方策、予算措置推進体制などについて19年度の予算の概算要求のなかで決めたいと考えております。

か推移している答弁ですが、今後の改革と町づくりをどのように導こうとしていますか。

町長 10年先を見据えた第4次日出町総合計画を作成しました。行政運営の指針となる基本的なものです。住みたくなる町、住んでよかったと思える町になる

ように「町民が主役の町づくり」をやっていきたくと考えています。

問 国の補助事業の「放課後児童健全育成事業」を町の校区ごとに整備、配置しては、いかがですか。

町長 現在、藤原地区で児童館、川崎地区で川崎児童クラブ、大神地区で、さざんか児童館およびさざんか児童クラブを実施しています。豊岡地区は、公民館開放事業として、ボランティアの方のお世話になっています。日出地区では、4月から日出保育園でひまわり児童館クラブを新規事業で開始致しました。

一般質問

防災行政無線通信網の 早急な整備を

城 美津夫 議員



問 過去の教訓から大規模災害に即応するためには消防・防災体制の強化が不可欠であり、社会的な課題となっています。日出町の方法と伝達に要する時間、問題点は。

総務課長 職員からなる情報収集委員・地元消防団・区長・各区の自主防災組織（86％）による情報の収集・伝達の体制を整えています。非常時には電話回線がパンクし使用不能になることは十分考えられます。しかしながらシステムの設置には大変な経費を伴い現状では整備は厳しいと考えます。

現状での対応は県の防災無線からすべての市町村に一齐に指令が伝達され、同時に職員にiモードで情報が入る体制を整えています。

問 将来、「デジタル同報通信システム」を導入するまでの

間、対応策として「移动通信」システムの採用はできないのでしょうか。

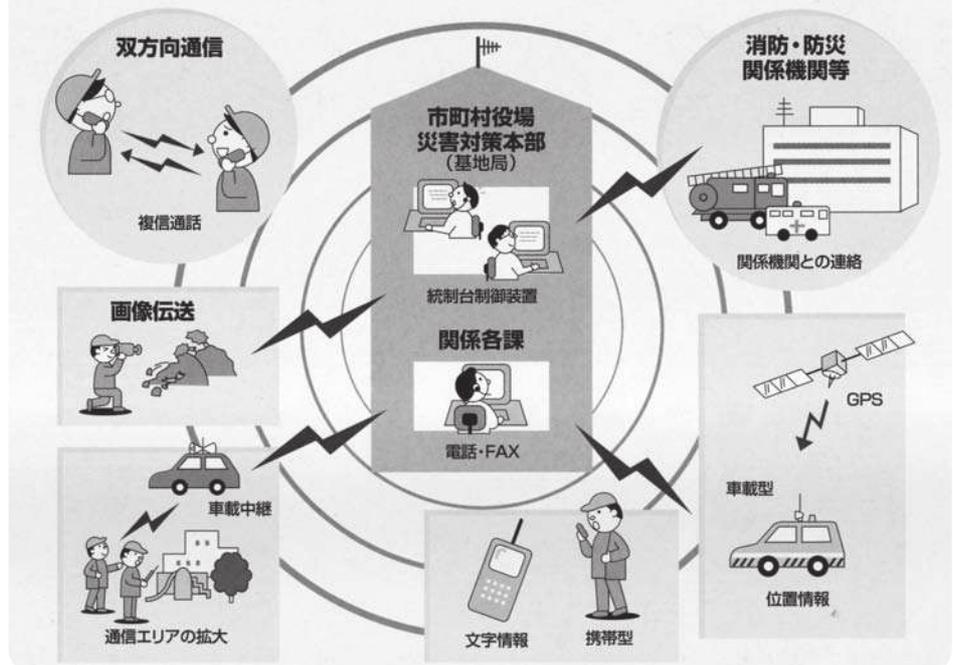
総務課長 中越地震・福岡西方沖地震の折りにiモードだけは健全に機能した事実がありますし、仮に実用化できると比較的安価に整備が可能になるシステムと認識しています。

町長 安心・安全はキーワードであります。ご指摘十分理解し検討してまいります。

質問を終えて

将来、人口3万人の町を目指し発展していくためには、安心・安全のキーワードは不可欠です。

利用イメージ図



ポイント

「同報系防災無線」 集落の中心や避難場所などに設置され、屋外の住民に向けて防災情報を流す「屋外拡声子局」や携帯ラジオ型の戸別受信設備を各家庭や集会場などに設置し、「戸別受信設備」を介して、役場から住民に対して直接かつ同時に防災情報などを伝達する方法

「移動系防災無線」

他の通信手段が途絶した場合に防災担当者間で行う情報伝達手段で、役場の基地局と車両に搭載したり、携帯型の移動局での受信設備であり、移動局相互間での直接受信も可能にする伝達方法

一般質問

現場の声をいかした 子育て支援を

佐藤 清江 議員



問 「子育て支援係」の新設で期待している効果は。

町長 障害と児童福祉を分けて、従来の子育て支援関係事業に専門的に対処していく考えに立ち、保健士を2名新たに配置した。主に妊娠、出産から乳幼児期の母子保健業務を加えて、子育て支援の一元化を図ります。今後とも職員が一日も早く新たな業務になれて、専心努力するよう期待しています。

食生活の改善と 生活リズム習慣を

問 「朝食抜き」や「夜更かし」など子どもの生活リズムの乱れが問題になっています。文部科学省では「早寝早起き朝ごはん」運動を提唱し、この4月

から「子どもの生活リズム向上プロジェクト」に取り組み始めました。日出町も具体的な実施計画や達成目標を設けて、学校、地域、家庭と連携を取りながら食育を推進していく必要があると思うのですが。

教育長 今年度、各学校とも食育の指導を学校教育の中に積極的に取り入れて、食育年間指導計画をつくり、重点的に取り組むように現在指導しているところです。

母乳育児の推進を

問 思春期の心身症、摂食障害、ぜん息、アトピーなどの問題解決の糸口は、母乳育児にあるという研究実践に若いお母さ

んたちが共感し、勉強会をしています。行政として支援していく必要があると思うのですが。

健康増進課長 現在、育児相談、健康診断のときに個人指導を行なっています。今後は母親学級などと連携を取りながら、事業の内容を十分に検討し、積極的に支援をしていきたいと考えています。

AED（自動体外式 除細動器）と 救急講習の普及を

問 心配停止者の心臓に電気ショックを与え救命するAEDは、昨年の7月から医師や救命士に限らず使えるようになりました。まさかの時”のためにAEDの導入推進をはかる必要があると思うのですが。

総務課長 心室細動時に救急車が到着するまでの時間に、AEDを使って治療することは一番の有効であります。住民の皆さんが多数出入りする場所には、ぜひ設置が必要であると考えており、重



生存へのチャンスを生かせ（AEDを使った講習会）

要課題として十分検討に値すると考えています。

町長 AEDの寄付の依頼も頂いておりませんが、町として考察し、対応も必要だろうと考えています。検討させていただきます。

質問を終えて

母乳育児や食育の推進は、子育て支援の源を成すとの研究成果は看過できない。具体策を求めてがんばりたい。

町民の声

「保健室から思うこと」

川崎小学校 養護教諭

井川 光恵



「おはようございます」と挨拶を交わしながら、子どもたちの元気な声で私は、エネルギーをもらいます。校舎の長い廊下では、さまざまな子どもとの出会いがあります。

「昨日は頭が痛い」といつていた子の顔色は、今日はよさそうだ」「毎日保健室に顔をみせるあの子の姿が見えた、うつむき加減の背中が気になる、昨日より沈んだ様子だ、何があったのだろうか」と思いながら保健室に向かいます。

子どもは、社会の縮図といわれます。子どもの健康は、子ども自身の意識だけでなく社会環境や家庭環境の急激な変化によっても大きな影響を受けます。身体の傷はすぐ手当てすることはできますが、どの子も自分をよく見せようと心の傷を必死に隠そうとします。保健室で子どもに向き合いながら、教職員と情報を共有していくうちに、その子がどんな思いで学校に来ているのか明らかになっていきます。子どもと話して感じることは、自分のことが好きにな

れない子どもが多い気がします。「急がんか、何グズグズしよんのか、つまらんのお」など、マイナスな言葉かけばかりされるとどこか自分を否定し自分はダメな子と認識してしまいます。保健室に来た子どもには、できるだけ良いところに目を向け、子どもに言葉にして伝えていけたらと思っています。

自分は必要な存在であると実感でき、自分の立場と生き方に希望と誇りが持てるように学校・家庭・地域が協力していくことが、日出町の十年後にめざすべき将来像「人と自然が調和したふれあいと活力あるまち」につながっていくのではないかと思います。子どもたちの命が脅かされる事件が報道される中、私たち大人は改めて子どもとの信頼関係をつくる必要があります。その最初の一步として子どもたちに声をかけてみませんか。「おはようございます」と。

議会の動き

9月

- 11日 本会議
- 13日 本会議（一般質問）
- 14日～15日 常任委員会
- 16日～18日 県民体育大会
議員ソフトボール競技
- 19日 常任委員会
- 20日 議会報編集
特別委員会
- 22日 本会議
議会運営委員会

次の方々の選任に
同意しました。

人権擁護委員

阿南 洋一氏
(大神 軒ノ井)



町吏員懲戒審査 委員会委員

笠置 弘氏
(川崎 辻ノ尾)

相原 正和氏
(日出 本町)

編集後記



「公共施設をきれいに」
近ごろ公園などで弁当がらや空きカンの放置が目につきます。
自分の家だったら…
人が見ていたら…
彼女の前だったら…
それでも空きカンを捨てますか？

「皆さん、」
自分の家に持ち帰る習慣をつけましょう。
グラウンドは勿論、
体育館でもよく見られます。
子ども達も見ています。

明るい町づくりに
関連しますので、ご協
力をお願い致します。
(Y・G)

- 編集委員長 上野 公則
副委員長 佐藤 清江
委員 後藤 清江
委員 森 昭人
委員 佐藤 克幸
委員 熊谷 健作